

一般社団法人ラテンアメリカ協会
2020 年度定時会員総会

資 料



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 120A(1階)



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

第 8 回定時会員総会 次第

日時 2020 年 9 月 4 日(金) 16:00～

場所 三菱商事株式会社社会議室

東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号

1. 開 会

2. 審議事項

- | | | |
|---------|---------------------------|--------|
| 第 1 号議案 | 2019 年度事業報告書の件 | 【報告事項】 |
| 第 2 号議案 | 2019 年度決算書類承認の件 | 【決議事項】 |
| 第 3 号議案 | 2020 年度事業計画の件 | 【報告事項】 |
| 第 4 号議案 | 2020 年度収支予算 | 【報告事項】 |
| 第 5 号議案 | 定款一部改訂承認の件 | 【特別決議】 |
| 第 6 号議案 | 理事・監事選任の件 | 【決議事項】 |

3. その他

4. 閉会

一般社団法人ラテンアメリカ協会
2020年度定時会員総会 議案説明書

<p>第1号議案</p> <p>2019年度 事業報告書の件</p> <p>【報告事項】</p>	<p>定款の規定に基づき、2019年度事業報告書は理事会で承認済。</p> <p>2019年度会員数は、期首比、個人9名増、法人6社増、他（在外会員・学生等）の計23増の377名・団体（個人240名、法人82社、他）となった。主たる事業活動である講演会は、新型コロナ禍の影響で2月以降3件の講演会をキャンセルしたことから、前年度比2回減の16回（参加者累計800名）に止まった。特別イベントとしては、9月26-27日に東京で米国シンクタンク、インターアメリカンダイアログ（IAD）との第5回共催セミナー「分断された国際社会における日本とラテンアメリカのパートナーシップ」を開催し、計130余名の参加を得た。</p>
<p>第2号議案</p> <p>2019年度 決算書類承認の件</p> <p>【決議事項】</p>	<p>会費収入は、一部法人会員の口数削減に因り前年度比113万円減、予算比38万円増の1,015万円となった。事業活動収入の全体では、受託事業機会の喪失に因り前年度比180万円減、IADセミナー賛助金収入により予算比142万円増の1,369万円となった。一方、事業活動支出の合計では前年度比15万円減、主にIADセミナー経費負担により、予算比158万円増の1,453万円となった。結果、2019年度の最終収支差額は前年比165万円減、予算比16万円減の▲84万円となった。</p>
<p>第3号議案</p> <p>2020年度 事業計画</p> <p>【報告事項】</p>	<p>定款の規定に基づき、「2020年度事業計画は理事会で承認済。</p> <p>「2019年度事業計画」で承認された当協会3コア事業、①ラテンアメリカ情報の集積・発信（Information）、②ラテンアメリカ情勢等の研究・提言（Think Tank）、③出会いと交流の場の提供（Networking）の充実強化の実施2年目。</p> <p>① <u>発信</u>：オンライン主体に講演会・セミナーの9月以降の再開、個人会員の講演会・セミナー参加費引下げ、新型コロナウイルス最新情報・分析の発信（WEB/時報）、など。</p> <p>② <u>シンクタンク機能</u>：研究所レポートの公開、米IADとのオンラインセミナー（3月）、カトリカ大学（ウルグアイ）やCARI（アルゼンチン）との提携強化など。</p> <p>③ <u>ネットワーキング</u>：海外進出企業向け実務講習、在日商工会との提携など</p> <p>④ <u>運営体制</u>：個人会員会費の引上げ、理事・常務理事枠の拡大</p>

<p>第 4 号議案</p> <p>2020 年度 収支予算</p> <p>【報告事項】</p>	<p><u>定款の規定に基づき、2020 年度収支予算は理事会で承認済。</u></p> <p>2020 年度の事業活動収入は、コロナ禍での事業規模縮小を前提に 1,163 万円と堅めに設定。事業活動支出も同様に 1,161 万円と低めに設定し、収支ほぼ均衡とした。</p>
<p>第 5 号議案</p> <p>定款一部改訂 承認の件</p> <p>【決議事項】</p>	<p>事業運営体制の強化の一貫としての役員執行体制(理事・常務理事枠)の拡充。</p> <p>(1)「理事 7 名以上 15 名以内」→「7 名以上 20 名以内」 (2)「常務理事を 7 名以内」→「常務理事を 9 名以内」</p>
<p>第 6 号議案</p> <p>理事・監事選任の件</p> <p>【決議事項】</p>	<p>別紙の通り理事 18 名(内 2 名任期中)、監事 2 名(共に新任)を推挙いたします。</p>

2020年3月31日
一般社団法人ラテンアメリカ協会

(案) 2019 (令和元) 年度事業報告 (4~3月)

1. 2019 年実績概況

(1) 会員数・会費収入・事業活動収支

- 会員数：今年度期首の354団体・個人（法人76社、個人231名、他）に対し、年度末（3月31日）で377団体・個人（法人82社、個人239名、他）と23増（法人6社増、個人8名増 他）となった。
- 会費収入：前年度の法人会費の期中値上げの影響を抑えて会員数の落ち込みを回避、予算をクリアした。
- 事業活動収支：講演会収入が、2度の無料講演と参加者減少の影響で収益が伸びず、加えてIADとの共催セミナーの東京での開催費用が同時通訳の導入等が高んだため、収支差額（予算）▲686,900円に対し▲848,972円となった。

(2) 事業活動

- 講演会・セミナーの開催：16回・累計800人（前年同期18回・累計1,144人）
※ 新型コロナウイルス感染の拡大により2月末~3月に予定の3件の講演会を中止。
- ラテンアメリカ・カリブ研究所：大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム（4回）
- 米国インターアメリカン・ダイアログとの第5回共催セミナー（東京、9月26-27日）
- 季刊誌「ラテンアメリカ時報」：4回（春・夏・秋号）平均725部（前年620同数）
- WEB情報発信（HP・メルマガ・Facebook）：画面構成改善（メニュー再編・活用の手引き（サイトマップ）導入など）、内容充実（投稿欄、等）

2. 組織活動

(1) 2019 年度 定時会員総会

2019年6月14日（金） 日比谷国際ビル B1 会議室

- 議 事
 - 第1号議案 2018（平成30）年度事業報告書承認の件
 - 第2号議案 2018（平成30）年度決算書類承認の件
 - 第3号議案 2019（令和元）年度事業計画（報告）
 - 第4号議案 2019（令和元）年度収支予算（報告）
 - 第5号議案 会費規定一部改訂承認の件
 - 第6号議案 理事選任の件

- 会員交流会 ラテンアメリカ協会事務室

(2) 理事会

- ① 2019年度第1回〈紙上〉理事会

2019年5月27日（月）
2018年度事業報告・決算書類の承認（書面表決）

- ② 2019年度第2回理事会
2019年12月23日（月）
1. 2019年度4～11月の事業執行状況の件・・・[報告事項]
 2. 2019年度4～10月の予算執行状況の件・・・[報告事項]
 3. 代表理事および業務執行理事の職務執行報告・・・[報告事項]
 4. その他
- ③ 2019年度第3回理事会（紙上）
2020年3月30日（月）

(3) 常務理事会

- ① 2019年 4月24日（水）
- ② 2019年 5月30日（木）
- ③ 2019年 6月26日（水）
- ④ 2019年 7月25日（木）
- ⑤ 2019年 8月26日（月）
- ⑥ 2019年 9月17日（火）
- ⑦ 2019年10月25日（金）
- ⑧ 2019年11月28日（木）
- ⑨ 2019年12月16日（月）
- ⑩ 2020年 1月28日（火）
- ⑪ 2020年 2月20日（水）
- ⑫ 2020年 3月23日（月）

(4) 監事会

- 2019年5月22日 ラ米協会事務室
2018年度事業報告・計算書類・関連附属明細書・実施報告書、理事職務執行の監査

3. 会員状況（2020年3月31日現在）*会費未納者

会員種別	2019.3末	2019.4.1 (a)	2020.3.30 (b)	増減 (b-a)	摘要
法人会員	81	76	82	6	
個人会員	260	231	239	8	*15
国別団体会員	9	9	9	0	
在外会員	25	18	23	4	*4
賛助会員（大使館）	12	12	13	1	
賛助会員（学生）	9	8	10	2	*4
計	396	354	377	23	*23

4. 事業活動

(1) 講演会

開催実績（会員）

	2016	2017	2018	2019
開催回数	18	23	18	16
参加人数（協会分）	(907)	1,231 (1,136)	1,144 (892)	800 (711)
収 益	992 千円	1,002 千円	594 千円	184 千円

※2019年8月より講演料の事前支払いシステムを稼働（クレジットカード、コンビニ払いなど）。

実績

	日 程	講演内容
1	4月26日	「エルサルバドル次期大統領の政治外交・経済政策に伴うビジネス可能性について」 <ul style="list-style-type: none"> 樋口和喜駐エルサルバドル日本大使
2	6月19日	「ラテンアメリカでの ICT 事業：日本の官民の取り組み」 <ul style="list-style-type: none"> 総務省国際戦略局国際協力課 西野 寿 企画官 ソフトバンク（株）IoT 技術戦略統括部 戸上 崇課長（博士（学術））
3	7月26日	「ジャマイカの魅力ー投資・ビジネス機会」 <ul style="list-style-type: none"> リカード・アリコック駐日ジャマイカ大使 丸紅株式会社 電力本部 大園竜也 本部長補佐
4	7月29日	「最新のコロンビア政治経済情勢」 <ul style="list-style-type: none"> 森下敬一郎駐コロンビア日本大使
5	8月9日	「最近のブラジル情勢～ボルソナーロ政権の課題と展望」 <ul style="list-style-type: none"> 山田 彰 駐ブラジル日本大使
6	9月4日	「JICA 中南米 4 か国事務所長が語る中南米の魅力」 <ul style="list-style-type: none"> パナマ、ニカラグア、ボリビア、ブラジル各事務所長
7	9月12日	「ニカラグアの文化と経済」 <ul style="list-style-type: none"> 鈴木康久 駐ニカラグア日本大使
8	10月15日	「ペルー共和国の最新情勢」 <ul style="list-style-type: none"> 土屋定之 駐ペルー日本大使
9	10月29日	「日本とラテンアメリカを結ぶ海運・空運の現状と未来」 <ul style="list-style-type: none"> ONE ジャパン（株）木戸貴文 代表取締役社長 インフィニトラベルインフォメーション（株） 川原一志常務取締役

10	10月30日	「長岡技術科学大学が推進するメキシコなど中南米諸大学との国際協働教育」 <ul style="list-style-type: none"> 国立大学法人長岡技術科学大学大学院 宮下幸雄 准教授 「トピー工業における海外インターンシップ プログラムの取組み」 トピー工業（株）人事部グローバル人事室 一柳由紀氏
11	11月12日	「メキシコなど主要ラテンアメリカ進出先の経営管理セミナー」 東京コンサルティングファーム ブラジル法人 田村 彩紀代表
12	12月17日	「ローマ教皇フランシスコとラテンアメリカ」 上野景文 元駐バチカン大使
13	2月6日	「ラテンアメリカでのインフラ・ビジネスのチャンスと課題」 (株)国際協力銀行（JBIC）黒石邦典 常務取締役 日本工営（株）中尾誠 前中南米工営社長
14	2月12日	「2020年、日本の対中南米外交を展望する」 吉田朋之 外務省中南米局長
15	2月17日	「最新のメキシコ情勢と今後の展望」 高瀬寧 駐メキシコ大使 「チリの現状と今後の展望」 平石 好伸 駐チリ大使
16	2月25日	「ブラジルの最新情勢と今後の展望」 山田 彰 駐ブラジル日本大使講演会

(2) ラウンドテーブル

- ① 5月13日 カルロス・オミナミ チリ共和国元上院議員
- ② 6月13日 バーバラ・スターリングス 米ブラウン大学教授

(3) 第2回法人会員異業種ラテンアメリカ情報交換会

- ① 11月18日 「治安に関する各社取り組み」
外務省領事局 小野健邦人テロ対策室長

(4) IADセミナー

- 9月26-27日 米インターアメリカン・ダイアログとの共催セミナー（東京）
- ① 9月26日（木） ラウンドテーブル @日比谷国際ビルコンフェレンススクエア8E
（参加 44名）

「ラテンアメリカの現状：日本・ラテンアメリカ関係への影響」

“A Latin America Briefing: Implications on Japan-Latin America Relations”

第1セッション

基調講演「ラテンアメリカの最新動向」

"Latin America Regional Outlook"

スピーカー : Michael Shifter, President, Inter-American Dialogue

コメント : ベネズエラ: 坂口安紀アジア経済研究所主任調査研究員

キューバ: 山岡加奈子アジア経済研究所 LAC 研究グループ長代理

第2セッション

基調講演「ブラジルの現状:ボルソナーロの改革政策」

"Brazil Update: Bolsonaro's Agenda for Reform"

スピーカー : João Ernesto Christofolo, Counselor, Head of Political Section,
Embassy of Brazil

コメント : 堀坂浩太郎 上智大学名誉教授

第3セッション

基調講演「今後のロペス・オブラドールの政治経済課題」

"What's Next on Lopez Obrador's Political and Economic Agenda?"

スピーカー : Virginia Valdivia, Professor, Faculty of Political and Social
Science, Professor, National Autonomous University of Mexico
(UNAM)

コメント : 大石 和明 国際経済研究所主席研究員

第4セッション

基調講演「ラテンアメリカにおける中国の存在感」

"China's Shifting Role in Latin America"

スピーカー : Margaret Myers, Program Director, Asia & Latin America
Inter-America Dialogue

コメント : 桑山幹夫 神戸大学経済経営研究所フェロー

② 9月27日(金) セミナー @インスティテウト・セルバンテス東京

「分断された国際社会における日本とラテンアメリカのパートナーシップ」
*"The Role of Japan-LAC Partnership in Restoring a Fragmented International Order:
Toward Enhanced Cross-Pacific Connectivity"*

第1パネル

「価値の連結性強化: G20 大阪サミット後の日本とラテンアメリカ」

"Forging Values-based Japan-LAC Connectivity: G20 Osaka Summit 2019 and beyond"

モデレーター： 堀坂浩太郎 上智大学名誉教授
 パネリスト： 吉田朋之 外務省中南米局長
 マイケル・シフター インターアメリカン・
 ダイアログ 会長
 フリオ・フィオル 駐日チリ共和国大使
 宮地隆廣 東京大学大学院総合文化研究科准教授

第2パネル

「経済の連結性強化：日・ラ米間貿易の活性化に向けて」
*"Connecting Economies: Envisioning an Enhanced Japan-LAC
 Trade Dynamics"*

モデレーター： マーガレット・マイヤーズ インターアメリカン・ダイアログ
 企画部長（アジア・ラテンアメリカ）
 パネリスト： ビルヒニア・バルデビア メキシコ国立自治大学教授
 桑山幹夫 神戸大学経済経営研究所フェロー
 濱本容子 三菱商事(株)食品産業グループ
 生鮮品本部戦略企画室マネージャー

第3パネル

「知恵の共有：SDGs 実現に向けて」
"Achieving SDGs Goals through Shared Wisdom"

モデレーター： 幡谷則子 上智大学外国語学部教授
 パネリスト： 吉田 憲 国際協力機構（JICA）中南米部部长
 児島宏之 味の素（株）専務執行役員（研究開発統括）
 細野昭雄 JICA 研究所シニアリサーチアドバイザー、
 ラテンアメリカ協会副会長

(5) ラテンアメリカ関連団体連絡会議

- ① 6月7日 第28回ラテンアメリカ関連団体会議
- ② 9月6日 第29回ラテンアメリカ関連団体会議
- ③ 12月6日 第30回ラテンアメリカ関連団体会議（忘年会@Hibikoku ラウンジ）

※参加団体・機関（16団体・機関）

日本アルゼンチン協会、グアテマラ・マヤ文化協会、日本コロンビア友好協会、日本チリー協会、
 日本ペルー協会、日本ニカラグア友好協会、日本・パナマ友好協会、日本パラグアイ協会、日本
 ブラジル中央協会、日本ベネズエラ協会、日本ボリビア協会、メキシコ・日本アミーゴ会、日本・
 ドミニカ共和国友好親善協会、ラテンアメリカ協会、外務省中南米局、米州開発銀行（IDB）ア
 ジア事務所

(6) その他（後援・協力事業）

- ① 4月5日 主催：米州開発銀行（IDB）地域理事代表団歓迎レセプション（@東洋文庫）
- ② 5月27日 後援：「サグリエ・ブレイズ・サグリエ」ピアノコンサート
- ③ 9月21-23日 後援：第20回フィエスタ・メヒカーナ 2019 in お台場 Tokyo
- ④ 9月27日～ 後援：メキシコ・日本アミーゴ会 「メキシコ歴史文化講演会」（全4回）
- ⑤ 10月6日 後援：BOLIVIA FESTIVAL 2019
- ⑥ ～20年7月 後援：パンナムスポーツ交流プロジェクト

(7) 出版事業

ラテンアメリカ時報（協会季刊誌、年4回発行）

- ① 4月25日2019年春号（1426）「CPTPPの発効とラテンアメリカ・アジアの繋がり」
- ② 7月25日2019年夏号（1427）「ラテンアメリカとの教育交流と協力への取り組み」
- ③ 10月25日2019年秋号（1428）「G20 大阪サミットとラテンアメリカ」
- ④ 1月25日2019/20年冬号（1429）「変貌する食の大陸ラテンアメリカ」

(8) WEB 広報事業

① ホームページ:

1. HPメニュー再編、サイトマップ追加、時報記事リンク掲載開始（会員限定）
2. 投稿欄創設：エッセイ45本、レポート40本を掲載（2020年3月現在）
3. 中南米主要国在の日本商工会議所（チリ・ブラジル・ペルー・コロンビア・メキシコ）とのHP相互乗り入れ等の連携強化
4. 海外シンクタンク（米IAD、亜CARI、墨COMEXI）との連携強化（MOU締結、HPリンク）

② フェイスブック：イベント案内等、各種情報の発信

③ メルマガ：新着情報を配信（毎週火曜日）

5. ラテンアメリカ・カリブ研究所

研究所所長 堀坂浩太郎
シニア研究所員 桑山幹夫
シニア研究所員 桜井悌司

(1) 事業

● 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

1	4月15日	8th	「対極を行くメキシコとブラジルの新政権」	ジェトロ・アジア経済研究所 名誉研究員 星野妙子 ラテンアメリカ・カリブ研究所 所長 堀坂浩太郎
2	7月22日	9th	「経済産業省の対中南米政策」	経済産業省中南米室長 三浦 聡
3	10月21日	10th	「上海から眺めた中国のダイナミズムと 一帯一路の展開」	外務省研究所所長 片山和之
4	1月20日	11th	「蠢動する国際経済情勢のなかのラテン アメリカと日本の通商関係」	ラテンアメリカ・カリブ研究 所シニア研究所員 桑山幹夫

(2) 研究論文

1	4月3日	工藤 章	「主要な米国シンクタンク」
2	4月8日	桜井悌司	「ラテンアメリカ諸国の食品・飲料の対日輸出活動—国際食品・飲料見本市（FOODEX）への出展に見る—」
3	4月15日	桜井悌司	「何故チリワインは対日輸出に成功したのか」
4	5月16日	桑山幹夫	「再選を狙うトランプ米大統領の強硬路線—翻弄されるベネズエラをはじめとするラテンアメリカ諸国」（上）
5	6月1日	桑山幹夫	「再選を狙うトランプ米大統領の強硬路線—翻弄されるベネズエラをはじめとするラテンアメリカ諸国」（下）
6	6月11日	桜井悌司	「何故チリワインは対日輸出に成功したのか」（スペイン語版）
7	7月25日	桜井悌司	「日本の大学とラテンアメリカ主要国の大学との留学交流の課題」
8	8月5日	桑山幹夫	「日本・メルコスール間の EPA 交渉にも影響する EU・メルコスール FTA の暫定合意」
9	10月6日	細野昭雄	"Achieving SDGs Goals through Shared Wisdom: Toward Enhanced Japan-LAC Connectivity"
10	10月6日	桑山幹夫	"Reappraisal of Japan-LAC Trade and Investment Relations Amid China's Ascendance"
11	10月26日	大竹伸平	「2019 年中南米の政治経済構造と日本の対中南米外交構想」
12	11月18日	桑山幹夫	「今チリで起こった抗議デモがなぜ暴動化したのか？ その謎を読み解く」
13	12月10日	桑山幹夫	「フェルナンデス新政権はアルゼンチン経済を立て直すことができるのか？」
14	2月12日	細野昭雄 M.マイヤーズ	"JAPANESE ENGAGEMENT WITH LAC: Advancing Relations in an Era of Uncertainty"
15	3月2日	桑山幹夫	「第5世代移動通信システム（5G）とラテンアメリカ-その展開の行方と疑念」

以上

2019（令和元）年度決算書（案）

一般社団法人ラテンアメリカ協会

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	差異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,000,604	6,466,057	△ 465,453
未収会費	140,000	148,000	△ 8,000
未収金	540,960	5,960	535,000
前払費用	175,500	175,500	0
仮払金	165,849	41,581	124,268
流動資産合計	7,022,913	6,837,098	185,815
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
差入保証金	606,400	606,400	0
その他固定資産合計	606,400	606,400	0
固定資産合計	606,400	606,400	0
資産合計	7,629,313	7,443,498	185,815
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	3,736	4,934	△ 1,198
未払金	301,272	263,331	37,941
前受会費	1,697,000	704,000	993,000
流動負債合計	2,002,008	972,265	1,029,743
負債合計	2,002,008	972,265	1,029,743
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
正味財産合計	5,627,305	6,471,233	△ 843,928
負債及び正味財産合計	7,629,313	7,443,498	185,815

正味財産増減計算書

平成 31年 4月 1日から 令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①法人会費収入	8,280,000	9,335,000	△ 1,055,000	
②個人会費収入	1,878,000	1,951,500	△ 73,500	
③事業収入	323,620	310,620	13,000	時報直売
④受託調査・セミナー収入	1,058,000	1,454,000	△ 396,000	
⑤受託収入	0	1,887,047	△ 1,887,047	前年 外務省有識者対話
⑥広告収入	400,000	300,000	100,000	
⑦フォーラム収入	350,000	250,000	100,000	
⑧雑収入	1,398,524	86	1,398,438	
受 取 利 息	96	86	10	
雑 収 入	1,398,428	0	1,398,428	
経常収益計	13,688,144	15,488,253	△ 1,800,109	
(2) 経常費用				
①事業費	8,514,384	8,325,365	189,019	
諸 謝 金	2,899,324	2,881,923	17,401	
印 刷 費	1,803,800	1,790,640	13,160	
通 信 費	330,827	346,681	△ 15,854	
旅 費 ・ 交 通 費	1,205,022	612,360	592,662	当年 IAD東京セミナー
受 託 事 業 費	0	1,346,909	△ 1,346,909	前年 外務省有識者対話
フ ォ ー ラ ム 経 費	156,737	123,924	32,813	
雑 費	2,118,674	1,184,428	934,246	当年 IAD東京セミナー
減 価 償 却 費	0	38,500	△ 38,500	
②管理費	6,017,688	6,356,260	△ 338,572	
諸 謝 金	2,041,751	1,953,474	88,277	
理 事 費	284,210	454,011	△ 169,801	
借 室 光 熱 費	2,172,009	2,171,468	541	
旅 費 ・ 交 通 費	465,380	592,600	△ 127,220	
リ ー ス 料	93,312	93,312	0	
公 租 公 課	70,000	70,000	0	
雑 費	891,026	1,021,395	△ 130,369	前年 60周年記念式典
経常費用計	14,532,072	14,681,625	△ 149,553	
当期経常増減額	△ 843,928	806,628	△ 1,650,556	
当期一般正味財産増減額	△ 843,928	806,628	△ 1,650,556	
一般正味財産期首残高	6,471,233	5,664,605	806,628	
一般正味財産期末残高	5,627,305	6,471,233	△ 843,928	
II 正味財産期末残高	5,627,305	6,471,233	△ 843,928	

財 産 目 録

令和 2年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	2,343		
普通預金			
三菱東京UFJ銀行	5,998,261		
渋谷支店			
未収会費			
法人会員	140,000		
未収金			
令和3年度分会費	535,000		
SMBC GMOペイメント			
ラテンアメリカ時報代金	5,960		
前払費用			
家賃令和2年4月分	175,500		
三菱地所プロパティマネジメント			
仮払金			
令和3年度経費	162,100		
源泉所得税及び復興税	3,749		
麹町税務署			
流動資産合計		7,022,913	
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
差入保証金			
事務所敷金	606,400		
三菱地所プロパティマネジメント			
固定資産合計		606,400	
資産合計			7,629,313
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税	3,736		
従業員等			
未払金			
法人税等	70,000		
千代田都税事務所			
平成31年度経費	231,272		
前受会費			
法人会員	1,020,000		
個人会員	677,000		
23件			
71件			
流動負債合計	1,697,000		
負債合計		2,002,008	
正味財産			5,627,305

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

① 計算書類及びその附属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

② 固定資産の減価償却の方法

(1) 無形固定資産

定額法による減価償却を実施している。

③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

収 支 計 算 書

平成 31年 4月 1日から 令和 2年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	7,819,000	8,280,000	△ 461,000	
②個人会費収入	1,960,000	1,878,000	82,000	
③事業収入	330,000	323,620	6,380	
④受託調査・セミナー収入	1,500,000	1,058,000	442,000	
⑤受託収入	0	0	0	
⑥広告収入	300,000	400,000	△ 100,000	
⑦フォーラム収入	360,000	350,000	10,000	
⑧雑収入	100	1,398,524	△ 1,398,424	
受 取 利 息	100	96	4	
雑 収 入	0	1,398,428	△ 1,398,428	
事業活動収入計	12,269,100	13,688,144	△ 1,419,044	
2. 事業活動支出				
①事業費	6,910,000	8,514,384	△ 1,604,384	
諸 謝 金 支 出	3,000,000	2,899,324	100,676	
印 刷 費 支 出	1,800,000	1,803,800	△ 3,800	
通 信 費 支 出	360,000	330,827	29,173	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	600,000	1,205,022	△ 605,022	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	150,000	156,737	△ 6,737	
受 託 事 業 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	1,000,000	2,118,674	△ 1,118,674	
②管理費	6,046,000	6,017,688	28,312	
諸 謝 金 支 出	2,000,000	2,041,751	△ 41,751	
理 事 費 支 出	500,000	284,210	215,790	
借 室 光 熱 費 支 出	2,180,000	2,172,009	7,991	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	600,000	465,380	134,620	
備 品 費 支 出	100,000	0	100,000	
リ ー ス 料 支 出	96,000	93,312	2,688	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	500,000	891,026	△ 391,026	
事業活動支出計	12,956,000	14,532,072	△ 1,576,072	
事業活動収支差額	△ 686,900	△ 843,928	157,028	
当期収支差額	△ 686,900	△ 843,928	157,028	
前期繰越収支差額	5,864,833	5,864,833	0	
次期繰越収支差額	5,177,933	5,020,905	157,028	

収支計算書に対する注記

収支予算書及び収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に準拠して作成している。

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

現金預金、未収会費、未収金、前払費用、前払金、仮払金、預り金、未払金、仮受金、前受会費を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する通りである。

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	6,466,057	6,000,604
未収会費	148,000	140,000
未収金	5,960	540,960
前払費用	175,500	175,500
仮払金	41,581	165,849
合 計	6,837,098	7,022,913
預り金	4,934	3,736
未払金	263,331	301,272
前受会費	704,000	1,697,000
合 計	972,265	2,002,008
次期繰越収支差額	5,864,833	5,020,905

2020年8月5日

監査報告書

一般社団法人 ラテンアメリカ協会
 会長 佐々木 幹夫 殿

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

監事 伊藤 昌輝

監事 河嶋 正之

私ども監事は、2019年度の一般社団法人ラテンアメリカ協会の事業報告書、会計書類および附属明細書、理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定めた上で調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施いたしました。具体的には、理事会その他の重要な会議に出席するなど、理事等と意思疎通を図り、会計帳簿、これに関する資料、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・調査を行い、当法人の理事等から財産の状況並びに職務執行に関する報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書および附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していることを確認いたしました。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書およびその附属明細書は、全ての重要な点において適正に表示されていることを確認いたしました。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令および定款に違反する重大な事実は認められませんでした。
- (4) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

以上

(署名) 伊藤昌輝 

(署名) 河嶋正之 

2020（令和2）年度事業計画（案）

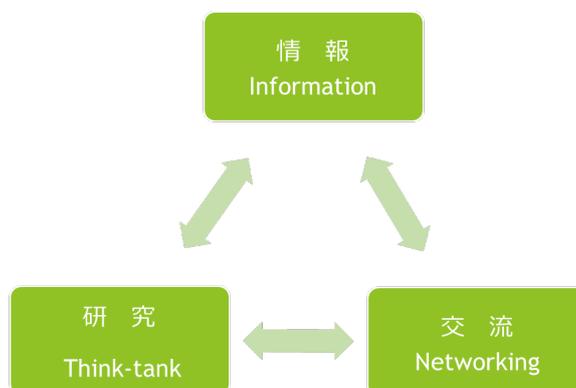
<2019年度事業計画の一層の推進と体制充実>

* 下線部 2019年度に実施

* 網掛け部分 2020年度推進・計画中

1. 事業領域の拡充：

ラテンアメリカ地域への関心向上と関係強化の実現のため、以下の通り、協会活動の3大領域である情報・研究・交流の一層の拡充を図るとともに、そのための体制充実を目指す。



2. ラ米関連情報の集積と発信（Information）

□ ホームページ等の拡充

→コンテンツ充実、スマホ対応化（済）、英語サイト充実

→フェイスブック、新着情報

→運営体制の強化（ワーキンググループ（WG）の設置）

□ ラテンアメリカ時報

→レベルの維持・向上、全面カラー化の検討（将来課題）

→編集体制の組織化（WG 設置済）

□ 講演会・セミナー

2020年度講演会・セミナー・ラウンドテーブル等の実施計画再検討

→9月以降の再開（感染症対策の強化、オンラインセミナーの実施等）

→魅力的なテーマの選定、他団体との共催

→無料・安価会場の確保、個人会員参加費引下げ（@2,000円を@1,000円）

→企画実施体制の強化（WG 設置済）

⇒IAD との共催セミナー対応の WG 別途設置

3. ラ米情勢等の研究と提言（Think-Tank）

- シンクタンク機能の強化→重点施策の一つ
- ラテンアメリカ・カリブ研究所
 - 研究員のリクルート（外務省に周知依頼済）、研究成果の発信
- 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム
 - 継続的な実施（年4回）、メンバー拡充
- 内外のシンクタンク・研究機関、ラテンアメリカ関連学会等との連携
 - Inter-American Dialogue(IAD)共催セミナーの継続
 - ⇒オンライン開催の検討（2021年3月頃）：骨子策定・講演者選定
 - ラ米主要シンクタンクとの協力覚書の締結
 - ⇒ウルグアイ/カトリカ大学等への展開
- 調査研究・セミナー等の受託事業
 - ⇒受託事業入札参加

4. 出会いと交流の場の提供（Networking）

- 日本人・会員同士の交流
 - 新春懇談会（年1回）、ラテンアメリカ・サロン（年1回）、ラ米関連団体連絡協議会（年4回）
 - 異業種ラ米情報交換会の定期開催（年3回）、講演会後のネットワーキング懇親会
 - ⇒海外事業会社の人事制度・人材育成（東京コンサルティング・伯国社長冒頭発言）
- ラ米各国関係者との交流
 - 駐日大使館との共催事業、来日要人とのラウンド・テーブル
 - 在日日系人団体との協力
 - ⇒CCBJとの共催セミナーの実施（伯大使館との連携模索）
- ラ米協会自体のネットワークの拡大
 - 講演会等の共催、調査研究等の受託
 - 政府機関、政府系機関、経済団体、ラ米主要国にある日本商工会議所
 - 大学・研究機関、ラ米関連団体、地方展開など

5. 新たな事業及び運営体制の強化

- 理事体制刷新⇒理事・常務理事枠の拡大
- ラテンアメリカ協会賞の創設
 - 日本とラ米との交流、SDGs/ESGで貢献が顕著であった企業・団体・個人

を公募し顕彰。新春懇談会の機会に授与（国際協力基金賞の例を参考に）

- 法人会員及び個人会員の維持・拡大策
 - 会員への魅力・特典の検討。講演参加費値下（個人会員 2,000 円→1,000 円）
 - 図書館会員（大学・公共図書館）の新設（会費年 10,000 円・「時報」各 2 冊）
 - ⇒ 2030 目標（SDGs）、法人会員 100 + 個人会員等 400
- 主要事業毎にワーキング・グループ（WG）設置
 - 狙いは、運営体制の強化＋意欲ある会員の協会事業への参加促進。
 - 常任理事が各 WG をリード。ラ米時報・講演会・ホームページ・ネットワーキング 等の分野を想定。WG メンバーに肩書付与。
- 事務局機能の強化
 - 人的・インフラ整備
- 会費・講演会参加費の新徴収システムの導入

以上

2020年度 収 支 予 算 書

2020年 4月～2021年 3月

(単位：円)

科 目	2020年度 予算額	2019年度 決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
法人会費収入	8,270,000	8,280,000	△ 10,000	
個人会費収入	2,025,000	1,878,000	147,000	
事業収入	320,000	323,620	△ 3,620	
講演会・セミナー収入	400,000	1,058,000	△ 658,000	
受託収入	0	0	0	
広告収入	320,000	400,000	△ 80,000	
フォーラム収入	300,000	350,000	△ 50,000	
雑収入	100	1,398,524	△ 1,398,424	
受 取 利 息	100	96	4	
雑 収 入	0	1,398,428	△ 1,398,428	
事業活動収入計	11,635,100	13,688,144	△ 2,053,044	
2. 事業活動支出				
①事業費	5,900,000	8,514,384	△ 2,614,384	
諸 謝 金 支 出	2,800,000	2,899,324	△ 99,324	
印 刷 費 支 出	1,900,000	1,803,800	96,200	
通 信 費 支 出	350,000	330,827	19,173	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	100,000	1,205,022	△ 1,105,022	
フ ォ ー ラ ム 支 出	150,000	156,737	△ 6,737	
受 託 事 業 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	600,000	2,118,674	△ 1,518,674	
②管理費	5,710,000	6,017,688	△ 307,688	
諸 謝 金 支 出	2,000,000	2,041,751	△ 41,751	
理 事 費 支 出	400,000	284,210	115,790	
借 室 光 熱 費 支 出	2,180,000	2,172,009	7,991	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	250,000	465,380	△ 215,380	
備 品 費 支 出	210,000	0	210,000	
リ ー ス 料 支 出	100,000	93,312	6,688	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	500,000	891,026	△ 391,026	
事業活動支出計	11,610,000	14,532,072	△ 2,922,072	
事業活動収支差額	25,100	△ 843,928	869,028	
当期収支差額	25,100	△ 843,928	869,028	
前期繰越収支差額	5,020,905	5,864,833	△ 843,928	
当期繰越収支差額	5,046,005	5,020,905	25,100	

2020年9月4日
第5号議案

一般社団法人ラテンアメリカ協会 定款の改訂

1. 提案理由

協会の運営体制の強化に向けた役員執行体制の拡充。

2. 変更の内容

変更箇所は下線部分。

変更前	変更後
<p>第19条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 7名以上15名以内</p> <p>(2) 監事 2名以内</p> <p>2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長、1名を専務理事、7名以内を常務理事とする。理事および監事は兼任することはできない。</p> <p>3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。</p>	<p>第19条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 7名以上<u>20名</u>以内</p> <p>(2) 監事 2名以内</p> <p>2 理事のうち1名を会長、2名以内を副会長、1名を専務理事、<u>9名</u>以内を常務理事とする。理事および監事は兼任することはできない。</p> <p>3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。</p>

一般社団法人ラテンアメリカ協会 2020年度理事・監事候補（案）

下線 任期中

1	理事	佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
2	理事	堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
3	理事	佐藤 悟	三菱重工業（株）顧問、元駐ブラジル・スペイン大使
4	理事	佐々木 修	元三菱商事（株）理事
5	理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株）特別顧問
6	理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
7	理事	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
8	理事	桜井 悌司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
9	理事	森田 嘉彦	元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁
10	理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
11	理事	中村 圭介	米州開発銀行（IDB）アジア事務所所長
12	新理事	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
13	新理事	村上 秀徳	元駐チリ大使、元農林水産審議官
14	新理事	今野 秀洋	元経済産業審議官
15	新理事	田中 径子	日産フィナンシャルサービス執行役員、前駐ウルグアイ大使
16	新理事	山岸 豊生	豊田通商（株）渉外部 海外渉外室中南米地域担当部長
17	新理事	富田 宏	PwCアドバイザー合同会社 インフラストラクチャー部門 ディレクター
18	新理事	峯苔 彰悟	元中国三菱商事（北京）金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店
1	新監事	棟方 直比古	元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター
2	新監事	安藤 泰志	元駐ニカラグア大使

1	退任理事	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー、 元駐エルサルバドル大使
2	退任理事	小川 元	元駐チリ大使、元衆議院議員
3	退任理事	藤島 安之	イービストレード株式会社 取締役、元駐パナマ大使、元通産大臣官房審議官
4	退任理事	棟方 直比古	元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター
1	退任監事	伊藤 昌輝	日本ベネズエラ協会会長、元駐ベネズエラ大使
2	退任監事	河嶋 正之	元日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所長

一般社団法人ラテンアメリカ協会 2019年度役員

会長（代表理事）	佐々木 幹夫	三菱商事（株）特別顧問・元会長
副会長・理事	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）研究所 シニア・リサーチ・アドバイザー、 元駐エルサルバドル大使
副会長・理事	佐藤 悟	三菱重工業（株）顧問, 元駐ブラジル・スペイン大使
専務理事	佐々木 修	元三菱商事（株）理事
常務理事	堀坂 浩太郎	ラテンアメリカ・カリブ研究所所長、上智大学名誉教授
常務理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株）特別顧問
常務理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
常務理事	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
常務理事	桜井 悌司	元関西外国語大学教授、日本貿易振興機構（JETRO）監事
常務理事	棟方 直比古	事務局長、元日本・東京商工会議所エグゼクティブ・コーディネーター
理事	小川 元	元駐チリ大使、元衆議院議員
理事	藤島 安之	イービストレード株式会社 取締役、元駐パナマ大使、元通産大臣官房審議官
理事	森田 嘉彦	東京ガス（株）監査役、元（株）国際協力銀行（JBIC）副総裁
理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
理事	中村 圭介	米州開発銀行(IDB)アジア事務所所長
監事	伊藤 昌輝	日本ベネズエラ協会会長, 元駐ベネズエラ大使
監事	河嶋 正之	元日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所長
顧問	河村 建夫	衆議院議員、元内閣官房長官
顧問	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン大使
顧問	安藤 泰志	元駐ニカラグア大使
顧問	式部 透	前米州開発銀行（IDB）アジア事務所長